



## Withdrawal of the decision to donate kidney by living donors; a single-center study in Japan

著者名	野田 剛史
発行年	2018-03-26
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10470/00032193">http://hdl.handle.net/10470/00032193</a>

## 主論文の要旨

Withdrawal of the decision to donate kidney by living donors; a  
single-center study in Japan

『生体腎移植ドナー候補者における移植準備後期に生じる提供意思の撤回』

東京女子医科大学大学院

内科系専攻精神医学分野

(指導：西村勝治教授)

野田 剛史

Clinical transplantation 投稿予定

### 【要旨】

生体ドナーの提供意志決定は、移植準備プロセス進行中にも継続して行われる。しかし、準備進行中の臓器提供意志撤回に関する研究はない。日本では腎移植全体の9割を家族間生体腎移植が占め、身体精査などが進んだ移植準備の後期に、第三者による意思確認面接が行われる。本研究では、第三者面接以降に生じた臓器提供意志撤回に関連する心理社会的要因を検討すること、撤回理由について検討することを目的とした。第三者面接を受けた446例中11例(2.5%)が腎臓提供意思を撤回した。単回帰では、撤回群は最終的に提供した群に比べて、女性の割合、結婚していない割合が多かったが、多変量では明らかな結果は得られなかった。撤回群の撤回理由には、“妊娠時のリスクを避ける”，“他の腎代替療法を選ぶ”，“ドナーの身体的負担を避ける”，“レシピエントの不摂生”，“意思決定に時間を要する” “心理的圧力” の6つが含まれていた。以上より、移植準備プロセス進行期の臓器提供意思の撤回には個別性が大きいと考えられた。ドナーの意思決定の支援と権利擁護のために、個々の症例に沿って適切に情報の認識が進んでいるかの確認、意思決定のための十分な時間の供与の必要性が示唆された。